

多言語センター F A C I L



2024年度事業報告

[2024年4月1日～2025年3月31日]

2024年度事業の振り返り

翻訳・通訳事業では、年間を通して文化・観光関連の大型翻訳やナレーション案件に忙殺されながら、FACILの活動の根幹である在住外国人の生活に関わる翻訳通訳の依頼をおろそかにせず地道に取り組み続けた1年でした。医療通訳事業でも実施数が前年度比1.5倍の1,286件へと増加したことさまざまな対応に追われました。3年目となったウクライナ避難民支援事業は長期的視点に立った支援へとシフトチェンジを迫られた年となりました。JICA日系社会研修受入事業は受入れ人数が2名へと増えました。大学や個人からの実習やフィールドワーク、ヒアリング依頼も増加し計267人を受入れました。

このような膨大なコーディネートや通常業務をこなしつつ、チャレンジの年としてさまざまな新しいことに取り組みました。

医療通訳事業では、公益財団法人PHD協会と特定非営利活動法人エフエムわいわいととも、外国人が安心して医療にアクセスできる多機関ネットワーク構築を目指して、丹波市と丹波篠山市で活動を開始しました。

多文化企画事業では芦屋市多文化共生アドバイザー業務を受託し、多文化理解講座や母語教室を企画・実施し、英語とやさしい日本語でニュースレターを発行しました。また、神戸市・韓国青少年国際交流事業の実施事業者として神戸市立須磨翔風高校と韓国（仁川市）の永化国際観光高校とのオンライン交流を担いました。さらに神戸市内の企業向け研修のプログラム開発にも取り組み、大学都市神戸産官学プラットフォームと協働で六甲バター株式会社にて『多文化な職場でのコミュニケーションを考える研修』を実施しました。

インターン事業でも台湾外交部『NGO 幹部及び若者の国際非政府組織インターンシップ派遣プログラム』に協力し、台湾から7月～8月に大学生1名と10月～11月に大学院生1名を受け入れました。

これらのチャレンジはすべて、これまでのFACILやワールドキッズコミュニティ（現在は『外国につながる子ども関連事業』としてFACILに統合）、たかとりコミュニティセンター（TCC）の活動で得た知見や経験、TCCの仲間たちの協力あってこそ取り組みです。

ご協力いただいたみなさまからの温かいご支援、ご指導に心から御礼申し上げます。

今後もすべての活動が「多言語・多文化なまちづくりの実現」というミッションを胸に挑戦し続けてまいります。引き続きご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

NPO法人多言語センターFACIL理事長 李 裕美

＜FACILが目指す団体像＞

- 多様なルーツをもつ仲間たちと協力し、独自の視点で発信する団体
- 誰もが対等な関係と機会を持てる多文化共生の社会づくりに挑戦する団体

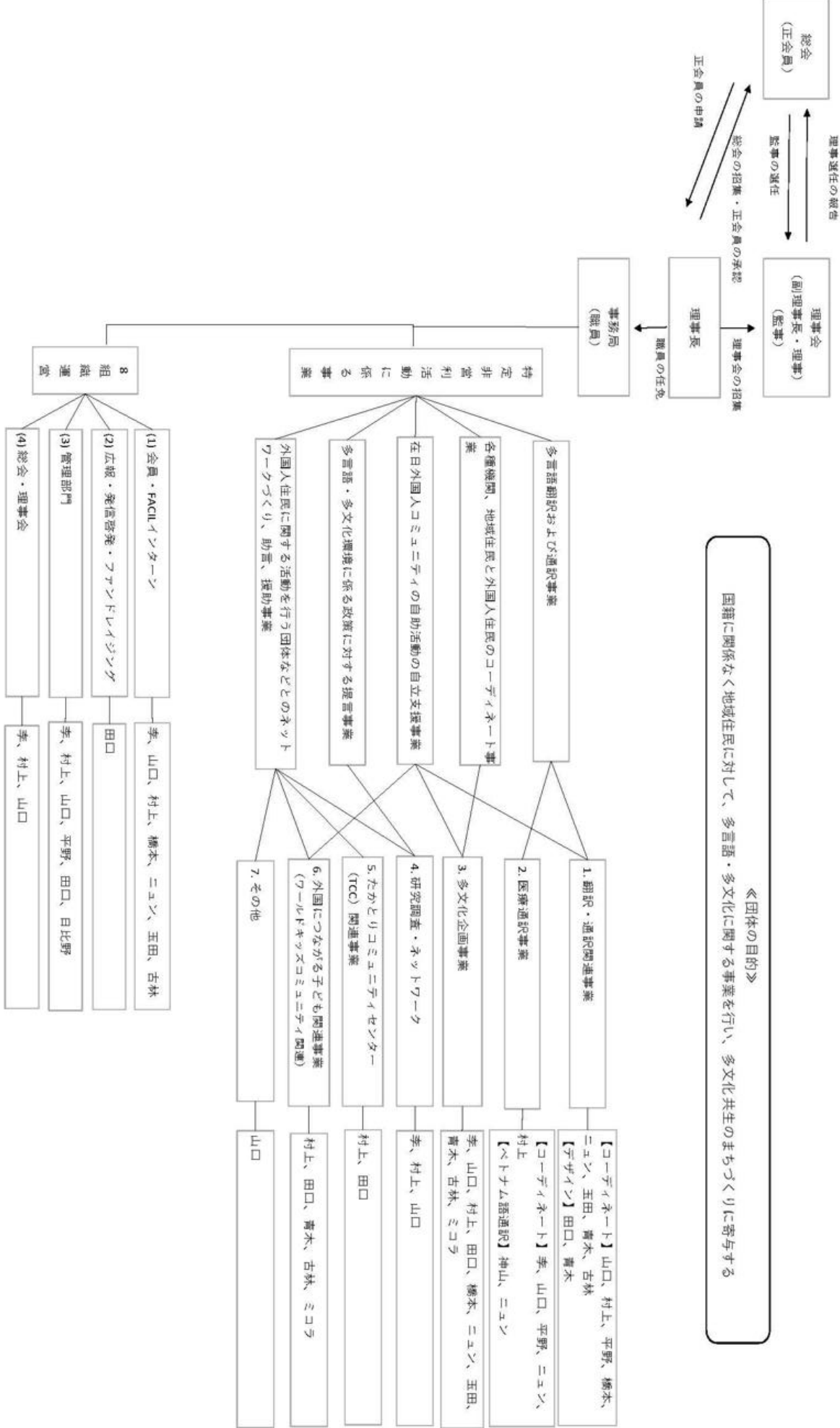
＜中長期計画（2023年度～2027年度）＞

- ①FACILがどのような団体であるのかを社会に伝える広報戦略を立て、スタッフ全員が発信する体制になる
- ②多様なルーツをもつ人たちの能力をより生かせる機会を創出し、活動してもらう登録者の年間人数を2倍にする（データベース等の改良含む）
- ③外国人住民の地域社会への参画と日本人住民との相互理解を促進させるために、多文化企画・提案事業（コーディネート事業）を発展させ、事業規模を2倍にする
- ④外国人住民との対等な関係と機会を持てる社会を築くためのコミュニティのニーズの調査
- ⑤医療通訳を社会インフラシステムとして確立させることを目的とした医療通訳システムの出口戦略の立案と実施
- ⑥多文化共生の社会づくりをリードしていくために、翻訳・通訳とレイアウトやナレーション等の複合案件の受注件数を2倍にする
- ⑦多様なルーツをもつ人たちの能力を引き出していくために、コーディネーターの育成機会を増やす
- ⑧登録者との対等な関係を維持しながら、多くの活躍の機会を創出していくために、市場動向（適正価格等）のマーケティングを行う
- ⑨外国人住民がより依頼しやすい環境整備としてキャッシュレス決済を導入する

＜職員リスト＞

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 李 裕美 | （理事長） |
| 山口 まどか | （理事・事務局長） |
| 村上 桂太郎 | （理事） |
| 田口 靖幸 | |
| 平野 由美子 | |
| 橋本 由里 | |
| ブイ ティ ホン ニュン | |
| 古林 みどり | （5/1～非常勤として産休・育休より復帰） |
| 玉田 なつみ | （非常勤） |
| 神山 満月 | （非常勤） |
| 日比野 美耶子 | （非常勤） |
| 青木 智博 | （非常勤） |
| ポベレジニック ミコラ | （非常勤） |

多言語センターFACIL組織・事業・担当職員図2024



1. 翻訳・通訳関連事業

＜業務総括＞

翻訳・通訳の案件数は前年度から162件減（15%減）、受注金額は前年度から8.7%増であった。通訳件数の減少要因は大阪急性期・総合医療センターの168件の依頼減である（282件→114件）。1件あたりの受注金額は前年度に比べ17,251円増加となったが、これは数件の大型案件受注によるもので、個人や行政からの依頼数に大きな変化はない。前年度よりも減ったとはいえ大阪急性期・総合医療センターの114件、神戸市こども家庭センターの68件、神戸市・明石市・兵庫県からの結核通訳30件、行政書士や弁護士からの29件、芦屋市25件など、件数上位の依頼は、みな在住外国人の暮らしに関わる翻訳・通訳依頼である。大型案件の対応に追われながらも、在住外国人の生活に関わる小さな依頼にも地道に対応してきた1年であった。

また、発注先（活用登録者数）の前年度比3人増は、コーディネーターが新規登録者の活用及び既存登録者の発掘を意識し、機会創出に尽力した結果である（中長期目標②）。対応言語の前年度比1言語増は、既存のFACILの登録者では対応できない言語の依頼にもあきらめず、各コーディネーターの持つネットワークをたどって探し、登録者（登録言語）を増やした結果である。近年の対応言語のわずかな増加は、自然と増えたものではなく、このようにコーディネーターの努力によるものである。キャッシュレス決済（Stripeを利用したクレジットカード決済）を導入し、外国人住民含む多様な顧客がより依頼しやすい環境を整えた（中長期目標⑨）。

通訳依頼は継続案件が大半を占めている。これらは長年の医療通訳事業や各種事業で培った実績が依頼へとつながったものであると同時に、登録者とコミュニケーションをとり適切なコーディネートおよび価格設定ができたことで顧客満足を得た結果である。希少言語やオンラインの依頼、アドバイスや判断を求められる案件が増えるなかコーディネートは複雑化しているが、これからも、1件1件の案件をおろそかにせず真摯に遂行し、依頼者、登録者、各関係者の立場で、「断らない、あきらめない、聞いてみる」を続ける。

FACILの根幹である翻訳・通訳事業が在住外国人や外国人コミュニティの仕事づくりと社会参画につながるコミュニティビジネスであることを自覚し、医療通訳事業や多言語・多文化提言活動などの社会貢献事業を支えていること、ミッションである多言語・多文化なまちづくりの実現へ向けて寄与していることを常に発信する姿勢を忘れず、たかとりコミュニティセンターをはじめとする他団体、他機関とのネットワークを築き、活動を一人でも多くの人に伝え、志を同じくする協力者を増やす。

(1) 翻訳・通訳コーディネートに係る環境整備

- ・外国人住民がより依頼しやすい環境整備としてのキャッシュレス決済（Stripe）を導入し、各コーディネーターが操作できるよう研修を実施した。
- ・遠隔通訳の依頼に対応するためZoomプロを年間契約。
- ・各コーディネーターが順にTCC連絡会に出席し、たかとりコミュニティセンターの仲間を知る機会とした。
- ・必要に応じて既存の入札参加資格（「全省庁統一一般競争（指名競争）参加資格」等）を更新した。
- ・専門分野別の翻訳やレイアウトの業者など外部委託先を引き続き積極的に活用した。

- ・インボイス制度に対応した請求書を発行するためのシステム構築を実施した。
- ・特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律（フリーランス新法）に対応して登録者への支払いスケジュールの見直しおよびシステム構築を実施した。

(2) Web、音声・映像、印刷につながる翻訳事業

①翻訳・ナレーション収録もしくはナレーター派遣

- ・AI音声の発展と普及を背景として、多言語での音声収録やナレーション派遣を含む依頼の件数は11件と前年度（27件）に比べて大幅に減少した。しかし、インバウンド関連の大型案件に対応したことで、ナレーションに関する売り上げは前年度よりも1.125倍に増加した。
- ・多言語での音声収録やナレーション派遣に関するコーディネートのノウハウを職員間で共有できるように体制の拡充に努めた。

②Web・DTP制作

- ・クライアントから受注した多言語/日本語DTPコンテンツを制作した。
「In Design（Adobe社のレイアウトアプリケーション。冊子・書籍制作に特化している）」の経験も蓄積されてきた。
- ・アプリケーションの不具合、タイ語、ネパール語など表示の困難な言語の表示不具合、文字が選択できない状態の翻訳原稿ファイルを選択可能な状態に変換するなど、コーディネートで生じた問題をサポートした。
- ・5件のクライアント（エフエムわいわい、リーフグリーン、神戸山手法律事務所、長田区社会福祉協議会、株式会社オルタナティブツアー）から請け負っているWebの保守、管理サポートを継続して行った。うち1件のクライアントからはSEO対策を請け負っており、サイトのメンテナンスにとどまらない施策を行った。

(3) その他

①相談機関等での面談・電話通訳

- ・兵庫県保健医療部疾病対策課「兵庫県外国人結核患者等保健指導にかかる通訳者コーディネート事業」実施5件（ベトナム語5件）
- ・神戸市健康局保健所保健課「神戸市結核患者等医療通訳業務」実施23件（ネパール語10件、ベトナム語5件、インドネシア語3件、ヒンディー語2件、中国語1件、ミャンマー語1件、スペイン語1件）
- ・明石市福祉局あかし保健所「明石市外国人結核患者等保健指導にかかる通訳コーディネート事業」実施1件（ヒンディー語1件）
- ・西宮市「外国人結核患者及び接触者等の保健指導にかかる医療通訳」 実施なし
- ・兵庫県女性家庭センター「外国人相談者に係る通訳者派遣事業」 実施1件（英語1件）

※通訳料改定のため交渉を実施し、7月1日から新契約にて実施することになった。

※研修会開催時に、登録通訳者へ適宜案内およびコーディネーター出席

- ・神戸市介護保険コミュニケーション・サポート事業（中国語、英語、スペイン語）（実施なし）

- ・東大阪市立男女共同参画センター・イコラーム 多言語相談業務通訳（実施なし）

②災害・非常時等の翻訳・通訳

- ・兵庫県国際交流協会「災害時・非常時等多言語緊急情報翻訳業務」受託契約（18言語）実施なし
- ・神奈川県「災害時・非常時多言語緊急情報翻訳業務」受託契約（11言語）実施なし
- ・横浜市国際交流協会「災害時多言語翻訳業務」受託契約（13言語）実施なし

③年間契約による一般翻訳・通訳

- ・芦屋市「公用文翻訳業務委託」（単価契約、15言語）実施26件 7言語 2,194,041円
- ・宮崎市「宮崎市翻訳業務委託」（単価契約、4言語）実施10件4言語 1,360,260円
- ・公益財団法人太平洋人材交流センター（PREX）ウェブサイト更新55,000円（英訳は随時見積138,600円）
- ・社会福祉法人兵庫県社会福祉協議会「技能実習生・特定技能外国人に対する通訳・翻訳対応業務」（3言語）実施無し
- ・社会福祉法人大阪府社会福祉事業団OSJ研修・研究センター「特定技能外国人の受入れにおける通訳業務」 実施無し

多言語センターFACIL 2024年度(2024年4月～2025年3月)
一般翻訳通訳・多文化企画事業の状況

※実施事業は、4月1日～3月31日の間に納品完了した医療通訳以外の案件。内容・言語の重複あり。(3月31日時点で代金未収のものを含む)

依頼者種別 (多文化企画除く)		
依頼者	件数	金額
行政	251	¥15,473,450
学校・病院・その他施設	149	¥4,264,840
民間 (企業・団体)	393	¥53,154,735
個人	150	¥2,296,555
小計	943	¥75,189,580

※2023年度から多文化企画を別建て。翻訳通訳単価79,743円 (前年度より17,251円up)

多文化企画		
依頼者	件数	金額
行政	3	¥8,461,200
学校・病院・その他施設	19	¥961,260
民間 (企業・団体)	13	¥12,061,288
個人	3	¥30,500
小計	38	¥21,514,248

合計	981	¥96,703,828
----	-----	-------------

(参考: 2023年度)

220	¥15,793,314
325	¥8,011,320
404	¥43,057,122
158	¥2,307,220
1107	¥69,168,976

1 ¥5,500,000
11 ¥610,880
14 ¥12,507,340
1 ¥15,000
27 ¥18,633,220

1134 ¥87,802,196

内容別 (重複あり)	
依頼内容	件数
翻訳 レイアウト付・文字起こし付含む	539
通訳 (医療通訳以外) 相談窓口通訳・翻訳付含む	374
レイアウト(WEB・印刷) 翻訳付含む	25
ナレーション 翻訳付・動画編集付含む	11
語学講師	3
その他 (文字起こし等)	12

(参考: 2023年度)

529
536
22
27
10
15

多文化企画	
依頼内容	件数
多文化企画 (講演・研修講師、実習受入れ、フィールドワーク受入れ、JICA事業、助成金事業、調査協力含む)	38

27

合計	1002
----	------

1166

複合案件 21 32件

※依頼者種別と内容別での件数合計の違いは、複合案件21件分

登録翻訳通訳者

1982人/団体

対応言語

76言語

2024年度発注先

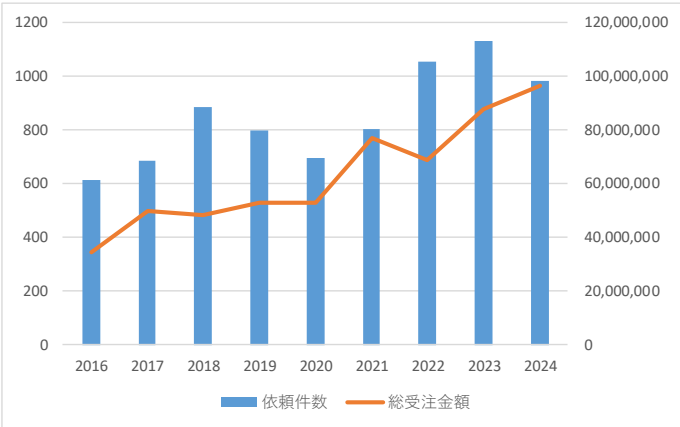
257人/団体

(2023年度より3人増)

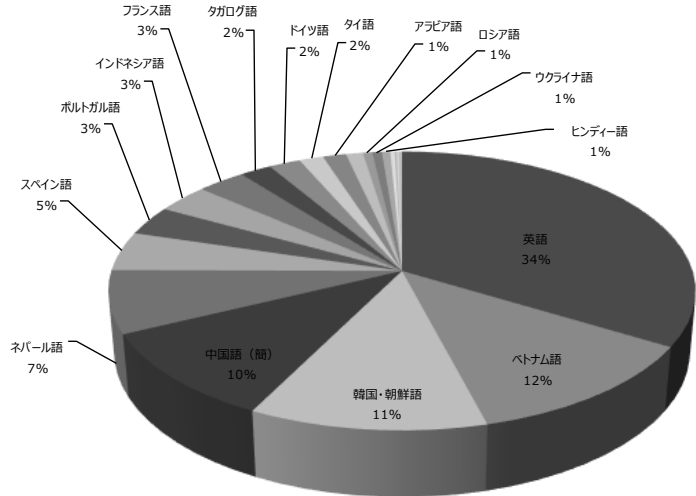
実施事業 (言語別)

依頼言語	件数	(2023年度)
英語	504	456
ベトナム語	184	360
韓国・朝鮮語	172	123
中国語 (簡)	156	115
ネパール語	109	66
中国語 (繁)	74	69
スペイン語	68	46
ポルトガル語	51	37
インドネシア語	50	28
フランス語	46	43
中国語 (普通話・北京)	43	48
タガログ語	30	44
ドイツ語	30	16
ミャンマー語	28	15
タイ語	23	19
アラビア語	22	26
イタリア語	16	4
ウルドゥ語	15	6
ロシア語	9	12
ウクライナ語	9	134
ヒンディー語	8	12
クメール語	7	5
マレー語	6	2
台湾 (台語)	4	6
シンハラ語	4	4
ベンガル語	4	4
トルコ	2	1
ベルシャ	2	1
モンゴル	2	3
ラオス	1	2
デンマーク	1	1
タリ	1	1
その他	10	18
日本語	47	59
合計	1738	1786

▶希少言語を含む多言語化が進む。



主な実施言語の割合 (件数)



※日本語には「やさしい日本語」、日本語による講演、ヒアリング、言語以外の作業を含む。

※2024年度その他: ティグライ語、ラテン語、ネワール語、クロアチア語、キルギス語、フィンランド語、タミル語、台湾華語

※2023年度その他: ハンガリー語、オランダ語、スロバキア語、ウズベク語、ルーマニア語、広東語

受注金額50万円以上案件

■ 翻訳		
学校給食費公会計化関係書類翻訳	行政	英、中・簡体字、韓国・朝鮮、スペイン、ポルトガル、タガログ
令和6年6月講演会原稿・サイトポリシー・プライバシーポリシー	民間（企業・団体）	英、中・簡体字、中・繁体字、韓国・朝鮮、フランス、ドイツ
日光の金工と彩色_⑩解説リスト	民間（企業・団体）	英、中・簡体字、中・繁体字、韓国・朝鮮、フランス、ドイツ
竹中大工道具館 常設展示解説	民間（企業・団体）	英、中・簡体字、韓国・朝鮮
竹中大工道具館 常設展示解説	民間（企業・団体）	中・繁体字、フランス、ドイツ
竹中大工道具館 茶室イベント・ウェブサイト	民間（企業・団体）	英、中・簡体字、中・繁体字、韓国・朝鮮、フランス、ドイツ
竹中大工道具館 日光展関連_21：佐藤則武氏講演会	民間（企業・団体）	英、中・簡体字、中・繁体字、韓国・朝鮮、フランス、ドイツ
気球操作トレーニングマニュアル	民間（企業・団体）	英
地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業 10言語	行政	英、中・簡体字、韓国・朝鮮、スペイン、ポルトガル、ベトナム、クメール、ミャンマー、ネパール、インドネシア
「災害時の発信情報テンプレート」の多言語翻訳及び校正業務委託	民間（企業・団体）	英、中・簡体字、中・繁体字、韓国・朝鮮、スペイン、ポルトガル、ベトナム、タガログ、インドネシア、クメール、ミャンマー、ネパール、ロシア、ヒンディ、フランス、タイ

■ 通訳		
全国旅行の通訳ガイド	民間（企業・団体）	フランス
ウクライナ避難民交流事業 同行通訳	民間（企業・団体）	ウクライナ

■翻訳、レイアウト(WEB/印刷)		
中播磨地域の観光パンフレット	民間（企業・団体）	英、中・簡体字、中・繁体字、韓国・朝鮮、フランス
宇部市防災ガイドブック翻訳業務	行政	英、中・簡体字、ベトナム、インドネシア、タガログ、日

■ナレーション、翻訳		
揚重講座動画 ナレーション／クロスチェック	民間（企業・団体）	ミャンマー
令和6年度文化資源活用事業費補助金（文化財多言語解説整備事業）関連 翻訳・ナレーション	民間（企業・団体）	英、中・簡体字、中・繁体字、韓国・朝鮮、スペイン、ベトナム、インドネシア、フランス、ドイツ、イタリア、タイ、マレー、台湾華語（中国語普通話）、中・北京
ユネスコ「世界の記憶」に登録された智証大師関係文書典籍関連の多言語解説（三井寺1） 翻訳・ナレーション	民間（企業・団体）	スペイン、インドネシア、ドイツ、イタリア、タイ
東京都歴史文化財団 常設展示室音声ガイド等の音声データ作成	民間（企業・団体）	中・簡体字、韓国・朝鮮、スペイン、中・北京

■多文化企画		
県内ウクライナ人避難民自立促進事業	民間（企業・団体）	ウクライナ
ウクライナ避難民への日常生活支援コーディネート業務	民間（企業・団体）	ウクライナ
日系社会研修（多文化共生推進／日系協力型）	民間（企業・団体）	スペイン
芦屋市多文化共生アドバイザー業務委託	行政	英、ネパール
神戸市・韓国青少年国際交流事業（オンライン）	行政	韓国・朝鮮
神戸PRアンバサダー事業運営業務	行政	英

2. 医療通訳事業

<業務総括>

遠隔通訳をメインとする新実施要領の運用5年目。医療通訳システム構築事業の実施数は前年度875件から1,286件に増加（遠隔通訳686件、同行通訳600件）、全体に占める遠隔通訳の割合は49%から52%に増えた。遠隔・同行ともに大幅に件数が増えており、医療通訳のニーズの高まりが見える。遠隔通訳で特筆すべきは、2021年度から参加している市立加西病院の件数が年間10件程度から100件を超えるまでに至ったことであり、これは担当者の意識によるものである。各病院にて遠隔を推進する中、同行通訳件数の増加要因は、遠隔通訳で対応できない言語（アラビア語）と、神戸大学医学部附属病院の同行希望の増加である（遠隔通訳は10件未満）。それらに伴い、キャンセル件数も増加しているのが懸念ではある。参加医療機関は2023年度と同様に9病院。

遠隔通訳の利用率は病院によって差があり、利用の低い病院に対して医療従事者と患者双方への啓発を進めなければならない。参加医療機関以外からの医療通訳の問い合わせも多く、北播磨総合医療センター、市立加西病院以外にも、播磨・丹波・但馬地域など県内全域にて通訳が利用できる環境整備が必要である。そのため今年度は特に丹波地域において、医療機関だけでなく、各地の国際交流団体や行政機関への制度説明と啓発も積極的に実施した。また、姫路方面からの医療通訳を必要とする患者や関係機関からの問い合わせも増えており、2022年5月1日より統合移転開院した中核的総合病院である兵庫県立はりま姫路総合医療センターなど医療通訳システム導入が必要とされる医療機関は多く、今後の課題だと考えている。

また、公益財団法人兵庫県国際交流協会（HIA）「令和6年度医療機関における外国人患者受入環境整備助成事業」の助成300万円を、遠隔通訳実施に伴う管理、導入促進・啓発等の普及活動に活用した。

(1) 医療通訳システム構築事業

兵庫県国際交流協会「医療機関における外国人患者受入環境整備助成事業」（医療通訳コーディネート：100万円、遠隔通訳の導入促進および実施：200万円）

① 実績

実施数は、遠隔通訳686件、同行通訳600件。（詳細は「2024年度医療通訳実施件数集計（遠隔・同行）」参照）※2023年度は遠隔通訳427件、同行通訳448件。

参加医療機関（計9病院）

- ・神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院
- ・神戸市民病院機構 神戸市立医療センター西市民病院
- ・神戸市民病院機構 神戸市立西神戸医療センター
- ・神戸市民病院機構 神戸市立神戸アイセンター病院
- ・神戸大学医学部附属病院
- ・兵庫県立こども病院
- ・兵庫県立ひょうごこころの医療センター

- ・北播磨総合医療センター
- ・市立加西病院

2024年度システム参加費

合計1,089,000円（2023年度 767,800円、システム参加費は前年度の同行通訳実績により算出）

2024年度 医療通訳実施件数集計（遠隔）

（2024年4月1日～2025年3月31日）

1. 通訳総件数 686 件

2. 月・病院別

	中央市民病院	神戸アイセンター病院	西市民病院	西神戸医療C	県立こども病院	県立ひょうごこころの医療C	神大病院	北播磨総合医療C	市立加西病院	計
4月	13		22		2	1		1		39
5月	14	1	22		5	1			6	49
6月	13		19			1		2	8	43
7月	18	2	30		3	1			18	72
8月	19	1	40	1	1	2		1	8	73
9月	17		26		3	1			7	54
10月	19		26			1			7	53
11月	16		25	1	3	1	2		6	54
12月	8	1	16		1	3			15	44
1月	15	1	29		1	5	1		3	55
2月	13		31		2	11	2	1	10	70
3月	15		37		2	9	2		15	80
計	180	6	323	2	23	37	7	5	103	686

3. 言語・病院別

	中央市民病院	アイセンター病院	西市民病院	西神戸医療C	県立こども病院	県立ひょうごこころの医療C	神大病院	北播磨総合医療C	市立加西病院	計
ベトナム	27	3	174	1	11	23	3	1	71	314
中/北京	82	3	22	1	1	4	2		11	126
英語	64		61		5	4	2	1	5	142
スペイン	1									1
ポルトガル	5		5			4		3	13	30
韓国朝鮮						1				1
ネパール	1		51		6					58
タイ									2	2
ロシア			1							1
フランス										0
ドイツ										0
イタリア										0
タガログ										0
インドネシア						1				1
マレー										0
クメール										0
ミャンマー			7						1	8
モンゴル										0
シンハラ										0
ヒンディー										0
ウルドゥー										0
ベンガル			2							2
計	180	6	323	2	23	37	7	5	103	686

4. 診療科別

受診科	中央市民 病院	アイセンター 病院	西市民病院	西神戸 医療C	県立こども 病院	県立ひょうご こころの医療C	神大病院	北播磨総合 医療C	市立 加西病院	計
総合内科/総合診療科	8		2		1			1	41	53
循環器内科	2		6					2	1	11
消化器内科	24		10				2	1	3	40
呼吸器内科	4		10						1	15
腎臓内科	6		10							16
血液内科/血液腫瘍内科 /免疫血液内科			3							3
糖尿病・内分泌内科	9		10							19
膠原病・リウマチ内 科	15									15
感染症科										0
神経内科/脳神経内科	5		3							8
精神・神経科	11		1			24	1			37
婦人科/産婦人科	50		257	2	4		2			315
小児科	2		16		2				9	29
形成外科					1					1
整形外科	7		2						5	14
乳腺外科 乳腺内分泌外科	2		5							7
脳外科/脳神経外科	9				2		1			12
外科	2							1	7	10
泌尿器科	9		4		1				1	15
眼科		6			1				1	8
皮膚科	10		5						8	23
耳鼻咽喉科	7		3		1				17	28
歯科・歯科口腔外科	3						1			4
麻酔科	3				1				3	7
検査	5								2	7
化学療法室										0
救急外来									5	5
集中治療室・科	1				7					8
受付・事務手続き・会計 (入退院時含む)	32		1		2	4	1		8	48
病棟					2	10				12
その他(未回答含む)	2				5				4	11
計	228	6	348	2	30	38	8	5	116	781

※1件で複数の診療科等での利用があるため診療科別計は病院別計とは異なる。

※その他：発熱外来問診、がん検診、健康診断（市立加西病院）、その他、呼吸器外科（中央市民病院）、新生児内科（こども病院）

特定非営利活動法人 多言語センターFACIL

2024年度 医療通訳実施件数集計（同行）

（2024年4月1日～2025年3月31日）

1. 通訳総件数600 件（患者数：158名）

2. 月・病院別

	中央市民病院			アイセーター病院			西市民病院			西神戸医療C			神大病院			県立こども病院			北播磨総合医療C			市立加西病院			県立ひょうごこころの医療C			計
	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	
4月	11		1							11	1	1	25	1	2	2	1	1										52
5月	8		4							9			17		3	5												39
6月	11		1							17	1	4	18		2	7												54
7月	9	1								15			16	1		6												48
8月	11			1						8			16		2	1												37
9月	9	1		1						14	1	1	26		1	6												58
10月	9		1							22	1	1	25		2	6	1											64
11月	25	1		1						17	2	3	20		2	5												73
12月	8									12	1	5	17		1	4												42
1月	9		2							17	2	2	13	2	5	4												47
2月	11									10		3	15	2	1	4												42
3月	9		3							15	1	2	13		3	6												44
計	133	12		3	0		0	0		177	22		229	22		58	1		0	0					0	0		600

※電話対応も含む。

3. 言語・病院別

	中央市民病院			アイセーター病院			西市民病院			西神戸医療C			神大病院			県立こども病院			北播磨総合医療C			市立加西病院			県立ひょうごこころの医療C			計	
	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無	派遣	キャンセル有	無		
ベトナム	2		2							32	3	9	15		1	18												70	
中/北京	29	1	3	2						9		1	59	2	9	5	1											108	
中/広東	46		6													2												48	
英語	23									39	1	1	83	4	4	9		1										159	
スペイン	4												13			7												24	
ポルトガル													19	2	7	5												26	
韓国朝鮮	1																											1	
ロシア	3	1																										4	
タイ													1															1	
インドネシア										1		1																1	
アラビア	10	1		1						80	6	10	23		1	10	1											132	
タガログ																												0	
ネパール	12									1			4															17	
ミャンマー			1										3															3	
ウルドゥー										3																		3	
ヒンディー																												0	
ベンガル																												0	
タミル													1															1	
シンハラ										1																		1	
ペルシャ										1																		1	
計	133			12		3	0	0			0	177		22	229		22	58			1		0	0				0	600

※キャンセル有：キャンセルとなり、キャンセル料金発生

※無：キャンセルとなったが、キャンセル料金発生なし（合計件数に含まない）

4. 診療科別

受診科	中央市民病院	アイセーター病院	西市民病院	西神戸医療C	神大病院	県立こども病院	北播磨総合医療C	市立加西病院	県立ひょうごこころの医療C	計
総合内科	12			1	9	5				27
総合診療科										
循環器内科	12				3	7				22
消化器内科	28				9					40
呼吸器内科	5			3	2					10
腎臓内科	3				1					4
血液内科/血液腫瘍内科/免疫血液内科	2			1	11	2				16
糖尿病・内分泌内科	7			5	9	3				24
膠原病・リウマチ内科	8				10					18
神経内科/脳神経内科	6			3	16	5				30
精神・神経科					26	1				27
婦人科/産婦人科	27			136	28	4				195
小児科				18	28					46
形成外科					8					8
整形外科	2				5	7				14
乳腺外科										
乳腺内分泌外科	1			2						3
心臓外科										
心臓血管外科						3				3
脳外科/脳神経外科					2	1				3
外科						3				3
泌尿器科	16				6	2				24
眼科		3			31	3				37
皮膚科	3				5					8
耳鼻咽喉科	2			3	7	12				24
歯科・歯科口腔外科				2	13	1				16
麻酔科	2				21	1				24
化学療法室										0
救急/集中治療室・科	4					1				5
その他	10				10	9				29
計	150	3	0	177	260	70	0		0	660

※1件で複数の診療科を受診した日があったため、診療科別計は病院別と異なる。※通訳総件数にはキャンセル料が発生した件数も含まれるため、診療科別計との数が等しくない。

※その他：小児—小児科、遺伝子診療部、感染症内科、食道胃腸外科、放射線腫瘍科、放射線診断・IVR科（神大病院）、新生児内科、臨床遺伝科（こども病院）、放射線治療科、外来化学療法センター、検査、文書窓口、入院前準備センター（中央市民病院） 特定非営利活動法人 多言語センターFACIL

②検証会議（7月18日、対面・Zoom開催）

コロナによる影響が落ち着いたため対面での開催とし、オンラインでの参加も可能とした。2023年度実績報告、2024年度の対応状況の聴取、遠隔通訳（特に希少言語の場合は電話通訳）の利用促進を要請。また通訳者の個人情報保護の徹底要請、コロナウイルス感染症のレベルが5類に移行したあとの通訳の取り扱いについて各病院の方針を確認した。

出席者：神戸市民病院機構（神戸市立医療センター中央市民病院、同 西市民病院、神戸市立西神戸医療センター、神戸市立神戸アイセンター病院、法人本部経営企画室企画財務課）、兵庫県立こども病院、神戸大学医学部附属病院、市立加西病院、兵庫県産業労働部国際局国際課地域国際化班、兵庫県国際交流協会事業推進部多文化共生課、神戸市地域協働局地域協働課地域共生ライン、神戸国際コミュニティセンター、株式会社東和エンジニアリング社長室 Medi-Way推進部 東和通訳センター 計29名

③医療機関等への説明

- ・丹波篠山市市民生活部地域振興課、篠山国際理解センター（9月10日）
- ・丹波市市議に対する説明（9月10日）
- ・第1回丹波市合同会議にて、丹波市社会福祉協議会、丹波市国際交流協会、丹波市健康福祉部健康課、丹波市まちづくり部人権啓発センターと、丹波地域への医療通訳システム導入推進について協議および兵庫県医療通訳システム説明（9月27日）
- ・丹波篠山市による医療通訳導入に向けての市立加西病院視察同行および説明（10月21日）
- ・兵庫県立加古川医療センター 医療通訳実施およびシステム説明（11月13日）
- ・にしき記念病院、岡本病院 導入に向けた医療通訳システム説明（いずれも丹波篠山市、3月24日）
- ・第2回丹波市合同会議にて、丹波市社会福祉協議会、丹波市国際交流協会、丹波市まちづくり部人権啓発センターと、丹波市内医療機関向け外国人対応アンケート結果報告と今後の協議（3月31日）

④導入促進にかかる調査、発表、啓発等

- ・兵庫県国際交流協会に対する説明（4月9日）
- ・北播磨県民局総務企画室 総務防災課に対する説明（5月1日）
- ・大手前大学国際看護学実習Ⅱ（5月21日、5月28日）
- ・兵庫県立大学 看護実習（6月18日）
- ・青山暁兵庫県議会議員への説明（7月12日）
- ・関西国際大学統合看護実習 国際看護（7月16日）
- ・北播磨県民局総務企画室 総務防災課に対する説明（7月18日）
- ・大手前大学国際看護学実習Ⅰ（7月22日、7月29日）
- ・甲南女子大学インターンシップ（7月22日、7月29日）
- ・三木市市民生活部市民協働課および三木市国際交流協会訪問ヒアリング（8月5日）
- ・神戸市外国語大学「医療通訳・コーディネーター入門」講師（11月13日）
- ・北播磨総合医療センター訪問ヒアリング（11月21日）

- ・神戸市地域医療課からの問い合わせ対応（1月20日）
- ・兵庫県国際交流協会に対する説明（1月20日）
- ・西神戸医療センターとのアラビア語通訳対策ミーティング（1月22日）
- ・姫路大学看護学部グローバルヘルス看護学実習講師@兵庫県国際交流協会（2月10日）
- ・姫路大学看護学部グローバルヘルス看護学実習（2月12日, 2月14日）
- ・日本医療マネジメント学会第17回兵庫支部学術集会出席（3月1日）

⑤医療通訳者の育成

- ・参加：東和通訳センターMedi-Way勉強会（Zoom、毎月1回、全12回）
- ・研修案内：
 - 一般社団法人全国医療通訳者協会NAMI
CHIP研修（5月18日・6月2日、9月14日）、全国大会（1月18日）
 - 日本公共通訳支援協会Cots 医療通訳教室
基礎課程：8月11日・18日・25日・9月1日、1月11日・13日・18日・25日・26日
技能課程：9月1日・8日・15日・29日、1月25日・26日・2月2日・8日・9日・11日・15日・16日
 - 特定非営利活動法人チャーム（CHARM Center for Health and Right of Migrants）
結核とHIV（9月23日・10月19日・11月4日）

(2) Kobe International Medical Foundation (KIMF / 神戸万国医療財団) [2023年11月～／100万円、2024年10月17日受領]

2023年11月に受領した100万円の残額と2024年10月に受領した100万円で運用。システム参加外医療機関で寄付金による通訳利用があった際には、医療機関担当者等の署名、参加医療機関での利用では患者による署名で「寄付金利用書」を提出してもらうこととしている。（実施数は「KIMF 2024年度医療通訳派遣数集計」参照）

使用用途

- ・医療通訳システム事業参加医療機関以外への医療通訳派遣（同行通訳では病院負担分、電話通訳や患者が生活保護受給者のときは全額）
- ・生活保護受給者の参加医療機関での医療通訳料金患者負担分（遠隔通訳・同行通訳とも）
- ・遠方から赴く通訳者の交通費補助（往復1,000円を超えた分、参加医療機関も含む）
- ・これらに係るコーディネート費、寄付金利用医療機関への利用書送付と受領に係る通信費

KIMF 2024年度(2024.4.1～2025.3.31) 医療通訳派遣数集計

協定外病院通訳件数： 150

生活保護受給者支援： 88

交通費補助： 126

- ①システム参加外医療機関3500円(+コーディネート2500円)
- ②システム参加外医療機関3500円+生活保護受給者負担分補助2500円(+コーディネート2500円)
- ③システム参加外医療機関3500円(電話)(+コーディネート2500円)
- ④参加医療機関の生活保護受給者負担分補助2500円(同行)
- ⑤参加医療機関の生活保護受給者負担分補助1650円(遠隔)
- ⑥交通費：通訳者交通費往復1000円超過分を補助

月別実施数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
①	8	8	9	6	5	2	5	6	9	8	23	10	99
②	2	4	5	6	3	2	4	5	8	4	3	1	47
③	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	4
④	2	2	2	1	1	4	4	1	1	3	2	3	26
⑤	1	1	1	2	2	1	1	1	2	1	1	1	15
⑥	7	7	10	11	10	7	14	13	10	12	10	15	126
(重複)	(2)	(2)	(2)	(3)	(4)		(4)	(4)	(4)	(3)	(5)	(3)	(36)
計	18	20	25	23	17	17	25	22	26	27	34	27	281

言語別実施数

	アラビア	英語	スペイン	ポルトガル	北京語	広東語	越語(ベトナム)	ベトナム	ネパール	ロシア	インドネシア	シンハラ	その他	計
①	6	5	10	5	11	60	2	0	0	0	0	0	0	99
②	1	0	20	6	18	0	0	2	0	0	0	0	0	47
③	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
④	0	0	17	0	8	0	0	1	0	0	0	0	0	26
⑤	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	15
⑥	55	9	28	8	2	0	0	1	17	3	1	1	1	126
(重複)	(5)		(21)	(8)	(2)									(36)
計	59	14	55	11	38	60	2	19		3	1	1	1	281

医療機関別実施数

	神戸市立中央市民病院	神戸市立西市民病院	神戸市立神戸アイセンター病院	西神戸医療センター	神戸大学医学部附属病院	兵庫県立こども病院	あんしんクリニック	岡クニック	岡本クリニック	隈病院	新神戸北村内科	神鋼記念病院	平井歯科	ICRC神戸大学医学部附属病院国際がん医療・研究センター	神戸陽子線センター	三聖病院	新神戸ひろせ眼科	神戸循環器クリニック	新長田眼科病院	宮崎クリニック
	神戸市中央区	神戸市長田区	神戸市中央区	神戸市西区	神戸市中央区	神戸市中央区	神戸市中央区	神戸市中央区	神戸市中央区	神戸市中央区	神戸市中央区	神戸市中央区	神戸市中央区	神戸市中央区	神戸市中央区	神戸市中央区	神戸市中央区	神戸市中央区	神戸市長田区	神戸市長田区
①							13	1	15	4	8	4	11	5	1	9	3	1		1
②							1			1									11	1
③																				2
④	4				21	1														
⑤	13		2																	
⑥	21			50	17	2				1				2			1	1	1	2
(重複)										(1)				(2)				(1)	(1)	(2)
合計	38	0	2	50	38	3	14	1	15	5	8	4	11	5	1	9	4	1	11	4

甲南医療センター	灘診療所	わかば画像診断クリニック	小島外科	新須磨病院	関西青少年サナトリウム	博愛産科婦人科	明石医療センター	あさぎり病院	兵庫県立がんセンター	兵庫県立医科大学病院	尼崎総合医療センター	関西労災病院	尼崎だいち病院	加古川中央市民病院	平成泌尿器科クリニック	ツカザキ病院	姫路赤十字病院	兵庫県立はりま姫路総合医療センター	計
神戸市東灘区	神戸市灘区	神戸市兵庫区	神戸市兵庫区	神戸市須磨区	神戸市西区	明石市	明石市	明石市	明石市	西宮市	尼崎市	尼崎市	尼崎市	加古川市	加古川市	姫路市	姫路市	姫路市	
	3	1	1		1	1	1			1		1	2	7	4				99
14				1		1	2	1	1		5						5	3	47
														1		1			4
																			26
1						2					5	1		7	4		5	3	15
(1)						(2)			(1)		(5)	(1)		(7)	(4)		(5)	(3)	126
14	3	1	1	1	1	2	3	1	0	1	5	1	2	8	4	1	5	3	(36)

(3) 外国人が安心して医療にアクセスできる多機関ネットワーク構築

公益財団法人PHD 協会と特定非営利活動法人エフエムわいわいにより実施されるJICA事業、NGO 等提案型プログラム「多文化共生に資するコンサルテーションを通じたNGO 等の能力強化プログラム」（2024年4月17日～2026年3月31日）と協力し、全県で医療通訳が利用できる環境づくりに向け、特に丹波地方においてネットワーク構築活動を実施した。主に毎週火曜に実施される定期ミーティングに参加し、丹波市役所まちづくり部人権啓発センター、国際交流協会、社会福祉協議会と協力し、第1回（9月27日）第2回（3月31日）丹波市多文化共生地域医療アクセスを考えるネットワーク会議を実施。また、丹波篠山市地域振興課と協力し、市内3病院（にしき、岡本、篠山医療センター）にて説明会を実施、岡本病院への導入検討が進んでいる。

3. 多文化企画事業

(1) ひょうごウクライナ避難民支援プロジェクト関連事業

①ウクライナ避難民への日常生活支援コーディネート業務

「ウクライナ避難民等相談窓口」にて相談受付し、受け入れ手配（住居、生活支援補助金、入国ビザ申請など）を経て県内での生活を開始した避難民に対して、生活に関する相談受付およびヒアリングを実施し、課題解決のために、各種支援機関・市町等との調整を図り、避難民の暮らしへの日常の支援（オンラインおよび同行での通訳を含む）を実施した。

<相談窓口>

開設頻度：週3日、5時間／日

場 所：特定非営利活動法人多言語センターFACIL

生活相談窓口設置期間	： 4月 1 日～3月31日
対応日数	： 141日
通訳派遣件数	： 59件
相談員派遣件数	： 53件
実績額	： 5,100,000円

- ・生活一般に関する知識の提供と各種機関等との調整に長けたスタッフ、ウクライナ語とロシア語および日本語の日常会話程度の能力を有するスタッフを引き続き雇用し、支援体制を維持した。
- ・医療、教育、就労、ビザの変更などについて専門的な知識やサービスの提供が必要な場面では、各種支援機関・市町等からの協力を受けて支援した。また、補完的保護対象者認定制度について、避難民に必要と思われる補足的な説明をFACILのWebサイトとFacebookグループを通じて発信した。
- ・避難民への生活課題に関するヒアリングや、各種支援機関・市町等から専門的な知識やサービスを受ける場面では、オンラインおよび同行での通訳を手配した。

②県内ウクライナ避難民自立促進事業

避難の長期化、広域化、個別化を見据えた、避難民自らが自立した県内生活を営めるよう自立へのスムーズな移行を支援した。

社会参画・共助のきっかけ作りの場の提供：

- ・主に支援機関・団体が相互に情報を共有できるプラットフォームとして、県内避難民とその支援者・支援団体関係者により構成されるFacebookグループを運営し、その場において日常生活に必要な情報の提供を行った。
- ・小学校生活に関するQ&A冊子をウクライナ語版200部、日本語版100部作成し、ウクライナ避難民に加え、支援団体や関係機関等、20団体に配布した。配布先からは好評をいただいている。冊子制作にあたっては、日本での就学を控えたウクライナ避難民の保護者に対するヒアリングを実施し、当事者の視点から具体的なニーズを把握しつつ内容の正確性と実用性を担保するため、現職の小学校長による監修を受けた。また、ウクライナ避難民のイラストレーターにご協力いただき、視覚的にも親しみやすいデザインとすることができた。

コミュニティ形成促進事業：5件

日時	内容	主な実施場所
6月16日(日)	ウクライナ人作家の追悼イベント *実行委員会に協力して開催	神戸国際コミュニティセンター
8月26日(月)	淡路バレエ鑑賞	淡路市（旧アソンブレホール）
11月9日(土)	六甲山バスツアー	神戸市（六甲山）
1月18日(土)	ウクライナ料理教室 *志方公民館に協力して開催	加古川市志方公民館
3月20日(木・祝)	播磨バスツアー	姫路市、三木市など

ライフプランセミナー：5件

日時	内容	主な実施場所
5月29日 ～6月19日	生活状況のヒアリング	オンライン、対面
10月5日(土)	日本で収入を得る方法を学ぼう	神戸国際コミュニティセンター
11月15日(金)	外国人雇用センターで求人登録や検索をしよう	大阪外国人雇用サービスセンター
12月20日(金)	情報交換会、相談会	たかとりコミュニティセンター
3月22日(土)	日本の家庭料理を学ぼう（情報交換と教育冊子の配布あり）	ふたば学舎

- ・ライフプランセミナーの一部は、日本経済大学特任教授の川村忠隆氏、大阪外国人雇用サービスセンターの協力を得ながら実施した。

(2) JICA関連事業

①JICA課題別研修

「多様性と社会参画」の視点でかねてから検討中の「多様性を力とするまちづくり」研修をコマとして多分野におけるJICA研修に加える機会を伺ったが、今年度は進展がなかった。

②日系社会研修員受入事業（多文化共生推進/日系協力型）

一般社団法人ひょうごラテンコミュニティと協働し、研修期間5月21日～2月10日（来日期間5月12日～2月11日）にて、コロンビアからBURBANO DE LA CRUZ Sebastian Elias、ペルーからWAKU CAMPOS Edson Satoshi の、計2名の研修員を受け入れ、充実した研修を終えた。さらに2025年度の研修提案が採択され、ペルーから1名、NAKAZAKI YESQUEN Hideki Robertoを受け入れることが決定した。研修期間2025年5月20日～2026年2月3日（来日期間2025年5月11日～2026年2月4日）。

(3) 2024年度神戸市「神戸 PRアンバサダー事業運営業務」

公募型プロポーザルで数社のうち第1位となり受託。共通言語：英語、アンバサダー：85名

- ・公式SNSアカウント管理運営（全投稿数：2,977件 [内訳 Facebook：1,349件、Instagram：1,474件、X（旧Twitter）：154件]）
- ・フォロワー数の変化
 - Facebook：22,664→27,095（3月初旬）
 - Instagram：2,207→2,526（3月初旬）
 - X（旧Twitter）：1,115→1,098（3月初旬）
- ・SNS広告配信
 - Facebook：1月27日～2月2日、2月3日～2月9日、2月14日～2月21日
 - Instagram：2月14日～2月21日
- ・ニュースレター配信（1か月に2回 [8月、12月、1月は1回]、全21回配信）
- ・PRグッズ制作（オリジナルキーホルダーをデザイン制作）
- ・次期アンバサダー募集及び選考（2025年度応募者138名に増加、アンバサダーとして98名選出）
- ・オフィシャルツアーおよびイベント
 - 任命式&ミニツアー（5月7日 @神戸市役所1号館14階&24階展望ロビー）
 - オフィシャルイベント1「神戸PRのための英語ライティング講座」（9月14日@神戸国際コミュニティセンター 1F 交流スペース）
 - オフィシャルツアー1「六甲高山植物園&有馬散策から神戸夜景・欲ばりツアー」（9月29日@六甲高山植物園、六甲有馬ロープウェー、鼓ヶ滝、六甲ガーデンテラス）
 - オフィシャルイベント2「魅力的な風景写真を撮ろう！講座」（10月14日@神戸布引ハーブ園 ローズマリールーム）
 - オフィシャルツアー2「明石海峡大橋と神戸の歴史探訪～五色塚古墳から孫文記念館まで～」（11月30日@孫文記念館、旧武藤山治邸、明石海峡大橋・舞子プロムナード、五色塚古墳）

- オフィシャルツアー3「神戸水道筋商店街グルメ」（2月15日@水道筋商店街）
- オフィシャルツアー4「イチゴ狩りと太山寺」（3月16日@ファーマシア久保&太山寺）
- 終了式（3月22日@神戸ファッションマート CON4会議室）

(4) 芦屋市多文化共生アドバイザー業務委託

FACILとワールドキッズコミュニティでの活動で培ってきたノウハウとネットワークを活用して、以下の業務を遂行した。

- ・多文化理解講座（8回）の年間計画立案

芦屋市在住外国人に活躍の機会を与えるとともに外国人コミュニティの形成を促進し、日本人住民と外国人住民の交流の機会を創出するイベント等を立案・実施した。

開催日	内容	参加人数	主な実施場所
4月20日（土）	英語で遊ぼう	35名	芦屋市役所 分庁舎 2 階 大会議室
5月11日（土）	BBQ for hiking lovers	27名	芦屋市総合公園
7月19日（金）	Introduction to Japanese Cooking Experience	7名	潮芦屋交流センター
9月21日（土）	芦屋に暮らす外国人の背景 ー「やさしい日本語」の活用のために	23名	芦屋市役所 分庁舎 2 階 大会議室
12月4日（水）	Dr. Illia's Plant Hospital	6名	芦屋市役所 分庁舎 2 階 大会議室
12月10日（火）	外国人住民のための 和定食クッキング教室	7名	潮芦屋交流センター
1月25日（土）	外国につながる子どもたちの保護者の ための子育てお茶会	7名	芦屋市役所 東館3階 大会議室
2月22日（土）	おしごとお悩み相談室	8名	芦屋市役所 東館3階 中会議室

- ・英語とやさしい日本語での外国人へのメール・LINE 配信（年12回）

芦屋市広報紙より必要な記事を抜粋、又は外国人住民に必要なと思われる情報について、英語とやさしい日本語で原稿を作成。メール・LINE の下書き作成と配信準備。

- ・母語で会話できる居場所（母語教室）の設置（年12回）

事前準備を行い、月1度のペースで英語の母語教室を実施。アメリカ、カナダに加えて、フィリピン、中国などにルーツを持つ子どもたちが参加。

(5) 大学都市神戸産官学プラットフォーム「リカレント教育プログラム」事業

神戸市内の企業向け多文化共生研修を企画・開発し、神戸大学、神戸市外国語大学に協力を要請、大学都市神戸産官学プラットフォームと連携して企画・開発した研修を実施した。

- ・ 名称：多文化な職場でのコミュニケーションを考える研修
- ・ テーマ：日本に暮らす外国人、日本で働く外国人について知る／異文化理解、異文化コミュニケーション、相互理解／いかに多様な人々とともに、より働きやすい場をつくっていくか
- ・ 会場：六甲バター神戸工場 大会議室（神戸市西区見津が丘 6 丁目 7-1）
- ・ （第 1 部）12月16日（月）13:30～17:00 ※本社人事・総務・経営者層対象

講師：神戸市外国語大学准教授 中嶋圭介、神戸学院大学客員教授/NPO法人エフエムわいわい理事 日比野純一、武庫川女子大学教授・国際センター長/多言語センターFACIL特別顧問 吉富志津代

- ・ （第2部）12月26日（木）14:30～17:00 ※神戸工場生産部チームリーダーと班長対象

講師：神戸大学大学院准教授/神戸移民連絡会 齊藤善久、武庫川女子大学教授・国際センター長/多言語センターFACIL特別顧問 吉富志津代、多言語センターFACIL理事長 李裕美、同事務局長 山口 まどか

(6) 神戸市・韓国青少年国際交流事業（オンライン）

神戸市より委託を受けて、神戸市の青少年が姉妹都市である韓国仁川広域市の青少年との交流を行うことにより、相互理解を深めるとともに、幅広い視野と豊かな国際感覚を身につけることを目的に下記の事業を実施した。

①オンライン交流（事前交流及び本交流の計2回）の企画、運営

実施日	① 事前交流 9月24日（火）10:45～12:30 ※9時集合 器材確認リハ等 ① 本番交流 11月12日（火）10:45～12:30 ※9時集合 器材確認リハ等
実施場所	神戸市立須磨翔風高等学校 ICT教室
スタッフ数	神戸市側 グループ通訳サポーター4名手配 職員（コーディネーター）2名 参加
参加者数（対象）	須磨翔風高等学校 2年生14名 3年生24名 計38名 永化国際観光高校 1年生 9名 2年生11名 3年生11名 計31名 ・ 事前オンライン交流（9月24日（火）10:45～12:30）
内 容	●開会式 ●グループ別自己紹介 ●神戸・仁川の各グループが本交流でプレゼンするテーマを発表し合う ●互いの「街のいいところ、すきなところ」について自由に話し合う ●集合写真撮影 ●閉会式 ・ 本番オンライン交流会（11月12日（火）10:45～12:30） ●開会式（来賓あいさつなど）●神戸・仁川のグループ同士で発表と交流 ●集合写真撮影 ●閉会式

②事前学習（3回以上）、事後学習（1回以上）の企画、運営および授業補助

	実施日	内 容
< 事前 > 第1回	7月16日（火） 7月18日（木）	・ 講義「神戸における多文化共生の取り組み紹介」 講師：多言語センターFACIL ・ グループ分け、テーマ設定
< 事前 > 第2回	9月17日（火） 9月19日（木）	・ 講義「神戸・韓国青少年交流について」 講師：河昇彬氏（日韓国際会議通訳士） ・ 事前交流会に向けてのオリエンテーション ・ グループのメンバー同士でテーマに沿って撮りためた写真とその内容を共有
< 事前 > 第3回	10月17日（木） 10月22日（火）	・ 事前交流会のふりかえりと分かち合い ・ プレゼンテーション内容案作成
< 事後 > 第1回	12月12日（木）	・ 本交流会のふりかえり ・ プレゼンテーション内容の分かち合い（全体共有） ・ アンケート

(7) 新電力代理店業務を通じた地域、人、自然が共生する社会を広げる事業

シン・エナジー株式会社とひょうごラテンコミュニティとともに、ことばの壁のある住民が電力自由化にともなうサービスを享受できるよう電力会社の切替えをサポートする事業を実施してきたが、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー危機などによる電力市場の高騰を背景に、2022年3月31日からサービス受付を一時停止していた。受付再開に伴い、新たな代理店制度となったため、7月31日をもって解約となった。

(8) 世界の食とおもてなしサービス

今年度は実施に至らず。

(9) 研修企画、講師派遣・紹介等

①職員の講師派遣等 全16件

実施日	内容	依頼元	担当
5月17日	地域コミュニティ入門ゲストスピーカー 「兵庫県における医療通訳の現状と課題 ～多言語センターFACILの活動を通して～」	神戸学院大学 ポーアイ4大学 連携推進センター	李
5月23日	非常勤講師 大阪・神戸における多様な共生社会と文化	大手前大学	村上
7月1日	留学生向け講義ゲストスピーカー Vietnamese in Japan and Language support in particular	甲南大学	ニユン
7月22日	コミュニティ通訳ボランティア研修講師 「いま求められているコミュニティ通訳 ～通訳・翻訳コーディネーターの目線から～」 コミュニティ通訳ワークショップ	大阪府国際交流財団	李
8月7日	人権講習講師 在日コリアンとして生きる日本社会	大阪公立大学工業高等専門学校	李
8月27日	ゆるっと北浜サロングスト 「"どうする？ どうしてる？" NPO法人の代替わり ～NPO法成立・施行から25年以上を経て考える問題～」	大阪NPOセンター	李
10月8日	私学人研進路保障委員会オープンセミナー 「外国ルーツを持ち日本で働く ～通訳者（コミュニティ通訳）～」	大阪私立学校人権教育研究会	山口、神山
10月16日	ゲスト講師（ソーシャルビジネス） 多言語センターFACILについて	甲南女子大学	山口
11月30日	災害時ボランティア研修講師 「外国人住民と一緒に作るやさしい日本語」 「災害情報を翻訳するときのポイント」	八尾市国際交流センター	李、山口
12月5日	FACIL活動紹介	立命館大学	李
12月7日	医療通訳研修ロールプレイの患者役	CHARM	ニユン
12月9、 16、23日	講義出講 人権教育科目009 滞日外国人児童について	関西学院大学	村上
12月26日	六甲バター神戸工場リカレント教育プログラム 「多文化な職場でのコミュニケーションを考える研修」	大学都市神戸産官学 プラットフォーム	李、山口
1月19日	神戸防災のつどい2025パネリスト 「阪神・淡路大震災から30年たった今、防災と女性」	兵庫県防災士会	山口
2月10日	看護実習 たかとりコミュニティセンターやFACILの活動について	姫路大学	山口
3月4日	やさしい日本語ワークショップ 「『やさしい日本語』 ～もうひとつの外国人とのコミュニケーション方法～」	エフエムわいわい （長田区役所）	李

②研修・実習・ヒアリング等

	時期等	人数
個人	外国人支援活動に関するヒアリング対応（4月24日）	1名
兵庫県立大学	統合看護実習（小児看護）（6月18日）	5名
関西国際大学	統合看護実習（国際看護学）（7月11、12、16、17日）	6名
甲南女子大学	インターンシップ受け入れ （7月22日、7月29日～8月1日、8月3日）	2名
大手前大学	国際看護実習Ⅱ（5月21、30日）	86名（43名+43名）
	国際看護実習Ⅰ （7月22～25日、7月29日～8月1日、8月4日）	12名（6名+6名）
立教大学	たかとりコミュニティセンター フィールドワーク受け入れ （8月6日）	30名
個人	外国人支援活動に関するヒアリング対応（9月2日）	1名
大正大学	たかとりコミュニティセンター フィールドワーク受け入れ （10月4日）	10名
京都外国語大学	インターンシップ受け入れ（12月13日）	2名
姫路大学	看護実習（2月12、14日）	82名（41名+41名）
曹洞宗東京都宗務所	たかとりコミュニティセンター フィールドワーク受け入れ （2月19日）	30名
合計		267名

4. 研究調査・ネットワーク

(1) ネットワーク

李

- ・たかとりコミュニティセンター 理事
- ・NGO神戸外国人救援ネット 理事兼運営委員
- ・ひょうご市民活動協議会（HYOGON）代表
- ・公益財団法人神戸学生青年センター 評議員
- ・真如苑・ひょうご多文化共生基金 選考委員

山口

- ・兵庫・国際協力同志の会（HYOMIC）幹事
- ・CODE海外災害援助市民センター 理事

村上

- ・特定非営利活動法人 遊び雲 監事

(2) 非常勤講師など

李

- ・京都外国語大学「NGO・NPO活動論」「コミュニティビジネス」「多文化共生（プロジェクト科目）」

村上

- ・関西学院大学「多文化社会と人権（人権教育科目）＜オムニバス＞」
- ・大手前大学「大阪・神戸における多様な共生社会と文化＜オムニバス＞」

山口

- ・神戸市外国語大学「ユニティ単位互換講座：医療通訳・コーディネーター入門」

5. たかとりコミュニティセンター(TCC) 関連事業

(1) TCC事務局業務

- ・総会（年1回）、理事会（年4回）、事務局連絡会（月2回）の議案、議事録・各種資料準備
※TCC連絡会には、職員が持ち回りで参加し、TCCの目的や意義、各団体の活動への理解を深め、相互連携の可能性を展望できるようにした。
- ・会計処理業務
- ・事業報告書等の所轄庁への提出、定款・役員の変更手続き、登記等、運営全般
- ・フィールドワークとオリエンテーションの受入れ
- ・TCC 30年交流会（12月13日）の準備および開催

(2) TCC IT委員会

- ・5月から9月まで隔月で委員会を開催し（当法人からは田口・村上が参加）、その事務局を担った。9月以降はTCC内でのITトラブル等の必要に応じて随時開催することとなった。
- ・委員会で決定された事項の報告とTCCの各団体のITの困りごとや改善策など気軽に情報共有できる、下記内容と目的に沿った担当者会議（TCC-IT連絡会）を3～4か月に1度のペースで4回開催し、その事務局を担った。
 - 施設のIT関連トラブルとその対応の報告
 - OSアップデートやウイルス対策等の各団体の対応状況確認
 - 当面ネットワークに接続する各団体のパソコン等の追加・廃棄状況の確認
 - 各団体のファイル保存等でクラウド化を促進
 - 各団体のIT導入の事例紹介やトラブル対応の報告と共有

(3) 外国人コミュニティへのサポートなど

- ・関西ブラジル人コミュニティ、ベトナム夢KOBÉ、ひょうごラテンコミュニティに対して必要に応じたアドバイスとサポートを継続。

6. 外国につながる子ども関連事業

(1) ワールドキッズコミュニティに関する事業

- ・ワールドキッズコミュニティでの活動経験をもとに、今年度は神戸市の「神戸市・韓国青少年国際交流事業（オンライン）」を受託し実施した。→ **3の(6)** 参照
- ・県内ウクライナ避難民自立移行支援事業に絡めて、ウクライナ語版「学校生活Q&A集」を発行した。→ **3の(1)の②** 参照

- ・多様な背景を持つ子どもたちの育成活動（Re:C事業）に参加していたOB/OGのフォローアップを行った。
- ・ワールドキッズコミュニティが関わってきた取り組みの成果がまとめられた書籍『複数言語で育つ子どもたちの可能性 ― ボリビアの日系人からの学び』（吉富志津代編著、現代人文社）を、啓発・普及を目的に50冊購入。

7. その他

(1) 兵庫・国際協力同志の会（HYOMIC）

兵庫県における国際協力をテーマとした学び合い・ネットワークづくりをめざし、FACILを含む幹事団体から協力金を支出してミーティングを1回、3月16日にユース企画「災害と外国人支援」を開催。FACILからはインターン生のエメリンさんとアリアさんが当日のディスカッションに参加し、各団体や参加者とのネットワークを構築した。

(2) エクセレントNPO大賞

実施無し。

(3) ひょうご安全の日推進県民会議「震災30年企画委員が企画・実施する事業」

認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸、および、あすパ・ユース震災語り部隊と協力し、2025年度に実施予定の「多様な人と学ぶ神戸の災害文化」ユース研修フォーラムの準備を進めた。試行調査として5月26日、神戸コリア教育文化センターの金信鏞さんによる震災体験の聞き取りと長田の街歩きを実施。また、2025年8月1日のユース世界大会に向け、ひょうごラテンコミュニティ、エフエムわいわい、CODEに協力依頼し、世界に生きる神戸の防災文化という視点からのビデオレターを手配、さらに、CODE吉椿氏には当日の基調講演を依頼した。8月2日の長田フィールドワークに向け、KICCへの協力依頼、KFCハーティタンガさんの講演を手配した。

8. 組織運営

(1) 会員・FACILインターン

①会員

登録状況

- ・翻訳・通訳登録会員 1,984名（2025年3月31日現在、会費なし）
- ・正会員 12名（会費：5,000円）
- ・賛助会員 4名（3,000円：年会費／月会費 選択制）

②メールマガジン「FACIL117! だより」（2014年7月～）

会員のうち希望者を対象とし、翻訳通訳者等、FACILの協力者に役立つ情報を配信している。

- ・購読者：2025年5月2日現在825人（昨年より73人増加）
- ・発行方法：Googleグループ（希望者にはBCCで一斉送信）
- ・配信頻度：毎月1～2回
- ・2024年度発行数：18号
- ・内容：FACILや協力団体等のイベント案内、研修案内、活動報告、業務上のヒント、ボランティアや仕事の募集情報、多言語情報等

③FACILインターン

2024年度は、4名のインターン生を受け入れた。大学生、社会人、および台湾外交部が主催する「NGO幹部及び若者の国際非政府組織（INGO）インターンシップ派遣プログラム」で台湾からの学生がインターンとして活動し、自身の経験を生かしながら高い目的意識を持って積極的に学びを深めていた。

業務内容としては、翻訳コーディネート補助、医療通訳コーディネート補助など、FACILの活動に幅広く関わり、またインターン生の関心に応じて、たかとりコミュニティセンターの各団体とも交流を行った。

大学生（院、専門学校生を含む）	社会人	台湾外交部プログラム	合計
1名	1名	2名	4名

(2) 広報・発信啓発・ファンドレイジング

①ホームページ運用

- ・日々アップデートされていくSEOをとりまく状況をウォッチし、自団体ホームページ、クライアントホームページに対策を施した。FACILホームページでは、ここ数年間、少しずつリライトしてきた通訳のページ（<https://tcc117.jp/facil/tsuyaku.html>）が、2025年1月から「通訳依頼」関連のキーワード（「出張通訳」、「同行通訳」）で上位2～3位にランキングするようになってきた。
- ・需要に対して不足している翻訳・通訳者のリクルーティングのための募集記事を作成。ウルドゥー語、アラビア語を筆頭に、一定数の効果を得た。
- ・ワールドキッズコミュニティのホームページを保守管理した。
- ・ウクライナ避難民サポートで開催したセミナーの告知など必要に応じて記事を追加した。
- ・FACILホームページ、翻訳・通訳登録者用個人ページで使用しているWordPressの保守管理（アプリケーションアップデート、バックアップ取得、メンテナンス）を行った。

外国語キーワードでFACILの多言語コンテンツを閲覧している数

(サンプル集計期間 [2025年2月7日～4月30日])

言語	主なキーワード	クリック数
ベトナム語	失業、雇用関連 (例: bảo hiểm thất nghiệp ở nhật)	444 (前年874)
ポルトガル語	失業保険関連 (例: seguro desemprego japonês)	373(前年397)
インドネシア語	ビザ、技能実習中の転職、帰国について (例: visa tanki taizai adalah)	41(前年86)
英語	「日本の失業保険」、「ハローワーク」	40(前年42)
タイ語	「日本のインターンシップ (※注: 技能実習のこと?)」、「日本のビザ関連 (例: วิชาผู้ฝึกงานญี่ปุ่น)」	6(前年23)
ロシア語	なし	0(前年22)
韓国朝鮮語	「日本の失業給与」 (例: 일본 실업급여)	13(前年13)
中国語 (簡体字)	「日本の失業手当はいくらですか」 (例: 日本失业补助金有多少)	5(前年13)

(解説) 失業手当について調べたい意図を持った外国人が、関連するキーワードで検索した結果、FACIL ホームページの多言語コンテンツを閲覧するに至った数を表している。元々はコロナ禍が外国人住民の雇用状況に与えた影響を投影していた数字であることから、新型コロナウイルスが収束したことに比例してこの数値も減少している。ただ、ポルトガル語の失業関連のキーワードでFACILホームページを訪れている人の数は、昨年と比べあまり減少していないのは気になるポイントである。

②SNS、インターネットを活用した情報発信

- ・Facebookフォロワー：2,047人[2025年5月1日現在] (2023年度1,964人、2022年度1,782人、2021年度1,665人、2020年度1,099人、2019年度784人)
- ・Facebookページへの「いいね」：1,768人[2025年5月1日現在] (2023年度1,722、2022年度1,596、2021年度1,507、2020年度1,015、2019年度860)
- ・コミュニケーションツールとして活用を継続すると共に、Webサイトへの流入増加という目的のもと、Facebookを活用した。
- ・ウクライナ避難民に向けた情報発信をはじめ、社会状況の変動に応じて在住外国人にとって役立つ情報を拡散する窓口として活用した。
- ・PRアンバサダーのイベントレポートやウクライナ避難民と共に参加したバスツアーの模様などFACILの活動を広く知ってもらうためのツールとして活用した。

③Webを活用した物品販売・寄付など

FACIL24年誌『ソーシャルビジネスで拓く多文化社会——多言語センターFACIL・24年の挑戦』を販売した。

④その他広報制作物

- ・リーフレットや名刺をはじめ、その他事業の展開に応じた広報物、販促物などを修正、制作、印刷した。
- ・芦屋市多文化共生アドバイザー事業 (広報物制作)、医療通訳 (広報物の修正～印刷)、PRアンバサダー (広告制作、オリジナルグッズの制作～発注)、ひょうごウクライナ避難民支援プロジェクト (冊子「日本の小学校生活に関するQ & A」) など、各助成金関連事業の必要に応じて制作した。

⑤広報戦略の立案

2024年度は現状維持に留まった。

(3) 管理部門

組織基盤強化と雇用の安定を目指し、日々の活動を促進するため次のとおり行った。

①総務全般

- ・ TCCとの連絡調整、データベースの運用、ICT整備、機器管理、理事会・総会関連業務、文書管理、地域・他団体との渉外、育休関連の補助金申請・管理・報告などに取り組んだ。
- ・ 総務関連業務の遂行の充実を図り、スタッフの育成と体制強化に努めた。
- ・ 情報保護を強化するため鍵付き棚を購入した。

②労務・人事・福利厚生

- ・ 勤怠管理システム「ジョブカン」を導入した。
- ・ 中長期的展望に立ちフルタイムスタッフを1名増強するため、ハローワークを利用して求人募集を行った。
- ・ 社会保険労務士と緊密に連絡を取り、円滑な業務の遂行に努めた。

③経理・税務

- ・ クラウド型の会計ソフト（freee）とデータベース（kintone）の連携を進め、インボイスに対応した請求書発行ができる仕組みづくりなど、更なる効率化と質の向上を図った。
- ・ 例年どおり税務申告は高税理士事務所に委託した。

④庶務

備品・文具等消耗品、光熱費等の節約・削減等の意識は高くスタッフ一同に浸透している。TCCの所属団体としてNPO棟の毎月の掃除当番、毎月第1木曜日の古紙回収等、効率的動線を考えた環境の維持や美化（ごみの廃棄を含む）に、例年と同様に努めた。

⑤PCセキュリティ対策・メンテナンス・LAN管理

事務局における電話、インターネット、LAN、メールおよびWebサーバー、PCや周辺機器のメンテナンス等について、TCC本体の方向性を鑑みて、必要に応じてエフエムわいわいに依頼し、滞りなく活用を継続できるようにした。

⑥データベース

- ・ 広報戦略に合わせて、kintoneおよびWordPressを使った業務システムの改善を図った。登録者が依頼案件の内容や支払い状況を確認できるマイページの保守管理を行った。また、登録者がマイページを利用するにあたってサポートを行った。
- ・ メール共有システムmailwiseの機能をデータベースに連携させ、コーディネート業務の更なる効率化を検討したが、mailwiseの導入を仕事の内容に合わせて限定する方針に則って、一部のテンプレート

作成程度に限定した

- ・WordPressの登録者のマイページを改良し、支払調書をダウンロードできるようにした。

⑦職員研修

- ・長田まち歩き by 金信鏞さん（神戸コリア教育文化センター）：12月21日
- ・FACIL活動内容のあれこれ～それぞれの「生い立ち」 by 村上・田口：3月25日

⑧ミーティング

- ・全体ミーティング：5月9日、5月16日（2023年度振り返り、2024年度計画）
- ・運営ミーティング：適宜
- ・朝ミーティング：毎朝9時45分～
- ・翻訳・通訳ミーティング：基本的に毎週水曜日の朝ミーティング後
- ・その他事業ごとに適宜ミーティング

(4) 総会・理事会

①総会

6月23日開催

正会員総数14名のうち委任状出席6名を含めて14名出席

②理事会

- | | | |
|-----|--------|--|
| 第1回 | 6月10日 | 事業報告と活動決算の確認、スタッフ給与と理事報酬、事業計画および活動予算、他 |
| 第2回 | 10月4日 | 各事業の進捗と財務状況、フリーランス新法に対する対応、2024年度FACIL職員研修と忘年会、他 |
| 第3回 | 12月23日 | 各事業進捗と財務状況、フリーランス新法への対応、新規雇用、計算書類の注記、他 |
| 第4回 | 3月10日 | 各事業進捗と財務状況、新規雇用、役員改選、吉富志津代編著本の買取、他 |

ウクライナ料理作ろう

来月18日、志方公民館

加古川

ロシアのウクライナ侵攻で神戸市に避難している料理人ソフィア・クリメツさんが講師となり、デザートを作る教室が来月1月18日、加古川市志方町志方町の志方公民館で開かれる。12月3日から参加受け付けを始めた。

多言語センターFACIL（フアシル）＝神戸市＝が協賛し、神戸市外大の金子百合子教授が協力する。

神戸に避難の料理人が教室

教室では、りんごのピロシキと、ウクライナで親しまれるドライフルーツのコンポート「ウズヴァル」を作る。館内にはウクライナの国歌を流し、国花のヒマワリを折り紙で作って飾る予定で、同館は「ウクライナに一日も早く平和が訪れることを一緒に祈りたい」としている。

先着16人。参加費2500円を添えて申し込む。

同公民館 ☎079・452・0700
(増井哲夫)

2024年12月4日 神戸新聞



NPO法人「多言語センターFACIL（ファシル）」は、阪神・淡路大震災時にボランティアの活動拠点となったカトリックたかとり教会（前カトリック鷹取教会、長田区海運町3）内のたかとりコミュニティセンターに事務所を構える。

韓国語、スペイン語、ポルトガル語……。防災や医療などの生活情報を外国人向けに翻訳し、印刷物を発行する。創設者で特別顧問の吉富志津代さんは「言語は人権意識を高める入り口で、少数者のことを思う人をどれだけ増やせるかが大事」と話す。

在神戸アルセンチン総領事館などで勤務経験があり、スペイン語が堪能な吉富さんは

通訳で言葉と文化伝える



生活情報を多言語で翻訳した発行物などを前に、歩みを語る吉富志津代特別顧問（左）と李裕美理事長（右）長田区海運町3

多言語センターFACIL（ファシル）
長田区海運町3 ☎078・736・3040

⑥ 多文化共生

ファシル

震災ボランティアに携わった「戦争が始まったのでは」「ガス爆発が起こった」デマが流れ、日本語が不得意な外国人には避難所の情報すら届かない。FM放送などを通して、仲間と多言語で語りかけた。

震災前、神戸に移住した日系人の定住ビザ取得に必要な書類の翻訳を手伝い「暮らしに必要な通訳や翻訳を外国人の仕事づくりに生かしたい」という思いが、ファシルを立ち上げた。

多文化共生に取り組む主な団体			
NPO法人ワンセルフ	外国人の就労と日本語習得支援、中国残留邦人の居場所づくり	兵庫区荒田町2	080-4565-3641
多文化共生センターひょうご	外国人困窮者らに食料配布、行政担当者による防災や福祉などの説明会	東灘区深江南町4	078-453-7440
NPO法人実用日本語教育推進協会（THANK's）	日本語の教え方講座や、外国人向け日本語講座、日本語での交流会を開く	灘区摩耶海岸通2	078-891-3030
NPO法人神戸定住外国人支援センター（KFC）	子ども向け日本語、教科学習支援などを行い、国際交流施設を運営	長田区若松町4	078-612-2402
公益財団法人PHD協会	外国からの避難民や、パワハラ、不当解雇を受けた技能実習生の居住支援など	長田区神楽町3	078-414-7750

「連載「むすぶ手 ひらく輪」は、認定NPO法人「コミュニティ・サポートセンター（CS）神戸（東灘区）」と神戸新聞による阪神・淡路大震災30年共同企画です。月1回、市内のNPOや地域団体をテーマ別に紹介していきます。

理事長の李裕美さんは「通訳や通訳は、言葉の入れ替えではなく文化の伝承。コミュニケーションを促し、互いが理解できる環境づくりを進めたい」と話す。在留外国人が増える中、日本と海外の架け橋として易しさの存在意義はますます高まる。（門田晋一）

市場価格の8割程度の翻訳料でも「ボランティアなのに料金が必要なのか」と言われ、時には逆に「価格破壊だ」と怒鳴られた。それでも、社会に必要でありながら見落とされがちな隙間を埋める使命は揺るがなかった。

仕事を受ける翻訳登録者は現在、75言語の約1800人に上り、ウェブコンテンツ制作、教育、観光案内の通訳なども引き受ける。医療通訳では、受診する在日外国人に付き添い医師らの言葉を翻訳する。

2024年12月28日 神戸新聞



新着

地域

社会

事件・事故



経済

神戸新聞ホーム > 社会

天皇、皇后両陛下が兵庫入り 震災30年特別展示を観覧、被災経験した住民と懇談

2025/1/16 19:27



社会 神戸 震災30年



「多言語センターFACIL」設立代表者の吉富志津代さん（左）と話される天皇、皇后両陛下＝16日午後、神戸市兵庫区中之島2、兵庫県立兵庫津ミュージアム（撮影・風斗雅博）

トップ

トランプ再来

「闇バイト」犯罪

速報

朝刊



「多言語センターFACIL」設立代表者の吉富志津代さん（左）と話す天皇、皇后両陛下=2025年1月16日午後3時52分、神戸市兵庫区、兵庫県立兵庫津ミュージアム、代表撮影



2025 年 1 月 17 日 朝日新聞

「医療通訳」の利用者増加

外国人が言葉の壁を理由に受診を諦めることがないよう、加西市立加西病院（同市北条町横尾1）が導入したオンライン医療通訳システムの利用者が増えている。英語やベトナム語、中国語など22言語に対応しており、チラシを配って周知を図るなどしたのが奏功したとみられる。患者は無料で使うことができ、同病院は「一人でも多くの人に利用してほしい」と呼びかけている。（敏隆潤子）

医療通訳システムは、同病院が2021年度に導入。神戸市長田区のNPO法人「多言語センターFACIL（ファシル）」が、タブレット端末を通してビデオ通訳を行う。英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、韓国語、ベトナム語の6言語を取り扱い、タイ語、ミャンマー語など16言語は電話通訳のみで対応する。

土日祝日、平日の診療時間外救急でも予約なしで対応する。費用は市と病院が負担する。

加西市では1月末現在、人口4万1366人のうち外国人は1633人を占める。ただ利用数は21年度に12件あったものの、22年度は4件、23年度2件と伸び悩んだ。

このため同病院は本年度、やさしい日本語、ベトナム語など5言語のPRチラシを作

22言語に対応、チラシでPRも

受診時にオンラインの医療通訳を利用できる市立加西病院
＝加西市北条町横尾1



成。NPO法人市国際交流協会（おひめカレッジ）や加西商工会議所を通じて外国人や市内企業などに配布した。

病院内での運用も見直し、医療通訳システムの機材設置担当を看護師から医事課職員に変更。業務を分担して使いやすとした。その結果、1月末までに85件の利用があった。

市国際交流協会によると外国人が受診をためらう理由には、受け付けや予約、支払い方法が分からない▽問診票が

読めない、書けない▽ある程度の日本語を話しても医療用語が分からない▽などの問題があるという。同病院は、受け付けで病状を聞き取る段階から22言語の医療通訳が利用でき、問診票も12言語を用意している。

外国人からは「通訳があつて便利だった」「知り合いや子どもに通訳を頼まなくてよかった」と好評だという。

加西病院医事課 ☎0790・42・2200